

2025年度 協議会活動報告

2026年2月26日

中国地域半導体関連産業振興協議会事務局
(中国經濟産業局 地域經濟部 半導体関連産業室)

1. 協議会の概要
2. 2025年度の主な協議会活動
3. 2026年度の活動方針

1. 協議会の概要 (1) 協議会のおいたち

- 2021年6月に経済産業省が策定した**半導体・デジタル産業戦略**（2023年6月改定）において、「半導体産業の将来を担う人材の育成・確保に向けて、産学官が連携した地域単位の取組が必要」とされたことを受け、全国で相次いで地域コンソーシアムが設立。
- 中国地域では、2022年10月に中国地域半導体関連産業振興協議会が発足。国策としての半導体産業の振興を地域から支える立場から、**人材育成・確保**に加え**サプライチェーン強靱化**を大きな柱として活動を展開。

■ 設立目的

中国地域のデジタル社会実現の基盤となる半導体関連産業の中期的な発展の方策を検討する。

■ 設立時期 2022年10月5日

■ 事務局 中国経済産業局 ※2026年度中に組織の自立化・自走化を予定

■ 会員 331機関（2026年1月31日現在）

- 民間企業279、教育機関18、官公庁18、支援機関16
- 鳥取12、島根19、岡山50、広島132、山口56、その他62

中国地域半導体関連産業
振興協議会

北海道半導体人材育成等
推進協議会

東北半導体・エレクトロニクスデザイン
コンソーシアム（T-Seeds）

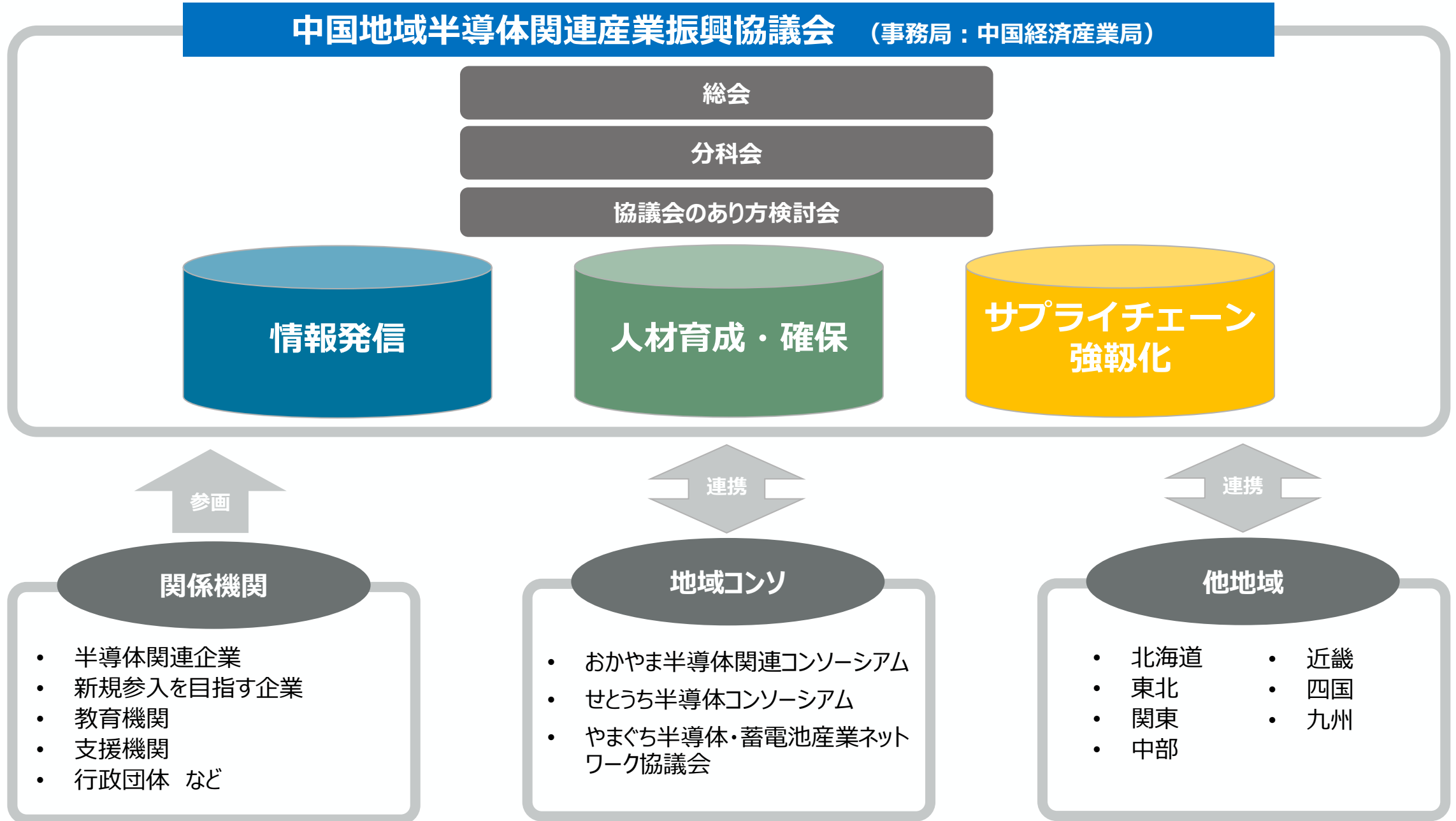
関東半導体人材育成等
連絡会議

中部地域半導体人材育成等
連絡協議会

関西半導体人材育成等
連絡協議会

九州半導体人材育成等
コンソーシアム

1. 協議会の概要 (2) 活動の全体概要



1. 協議会の概要 (3) 数字で見る2025年度の協議会活動 2026年2月26日現在

協議会活動に関する報道数

新聞 **27** 回 (前年8回)

テレビ **8** 回 (前年4回)

(前々年、ほぼゼロ..)



セミナー聴講者数

729 名

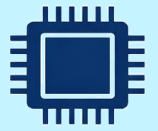
(新規)



半導体講座受講者数

488 名

(前年132名)



学生・保護者・教職員の工場見学者数

6回 **143** 名

(前年2回55名)



協議会が協力した 小学生のオンライン工場見学者数

1回 **656** 名

(新規)



協議会が協力した 出前講座参加者数

1,463 名

(キャリア講演会のうち
中国地域実施分)



企業同士の交流会参加者数

8回 **383** 名



企業同士の商談設定件数

57 件

(前年27件)



技術交流会での取引開始件数

51 件の商談により

9 件の取引開始



1. 協議会の概要
2. 2025年度の主な協議会活動
3. 2026年度の活動方針

① 高校・大学の講座開設支援 **【拡充・新規】**

- 人材の裾野拡大を目的に、**高校や大学の半導体関連講座開設を支援し、延べ488名が受講**。主に教育機関と地域企業の連携支援に注力。
- こうした取組を一つのモデルケースとして**他地域に横展開**していく。

岡山大学

- 地元半導体企業や他大学等と連携した半導体講座を新設（2023年）
- 「大学コンソーシアム岡山」での単位互換を開始（2025年）

講座名	受講者数
アタリマエの科学（一般教養）	17名
経営学入門（文系）	167名
先端半導体テクノロジー入門（理系B1）	120名
先端半導体テクノロジー（理系M1）	24名



一般教養
「アタリマエの科学」



経済学部
「経営学入門」

笠岡工業高校

- 近隣半導体企業（ローム・ワコー、エスタカヤ電子工業、福山大学）とMOUを締結。
- 地域特性を生かした学校の魅力づくりの一つとして半導体講座を開講。
- 出前授業やクリーンルームでの実習を行うほか、近隣大学との連携講座、工場見学等を実施。

講座名	受講者数
ローム・ワコー（出前講座・実習）	各40名
エスタカヤ電子工業（出前講座・実習）	各40名
フォックスコンテクノロジーズ福山 （旧シャープ福山レーザー）（見学）	40名
福山大学（見学・体験）	40名



クリーンルームでの実習
（エスタカヤ電子工業）



出前講座（ローム・ワコー）



1日体験入学（福山大学）

②工場見学ツアー【拡充】

- **学生及び学生の進路選択に影響を及ぼす保護者、教職員**を対象とした工場見学ツアーを**6回開催**し、**延べ143名が参加**。
- 特に保護者・教職員向けの企画においては、BtoBである半導体関連産業の現状や企業そのものを知ってもらう絶好のチャンス。

高専生、大学生向け

9/3 トクヤマ、日立ハイテク 19名



小中学生、保護者向け

12/25 タツモ、エスタカヤ電子工業 28名
12/26 マイクロンメモリ ジャパン 46名



教職員向け

10/15 ローム・ワコー、安田工業 22名
11/1 マイクロンメモリ ジャパン、広島大学 13名
12/3 アテル、アドテックプラズマテクノロジー 34名



参加者の声



- 自分の専攻と半導体分野のつながりがより詳細に知ることができ、**将来のキャリアパスについてより明確に想像することができた。**（高専生）
- 防塵服を着たことや、復習のクイズが楽しかった。こういう**半導体で、色々な物が動いているということが心に残った。**（小学生）
- 子どもたちの質問に丁寧に答えていただき、**興味を深めることができた。**親もあまり詳しくない分野なので、勉強になった。（保護者）
- 現場を実際に見たことで、**生徒へ伝える際の説得力が増した。**（高校教員）

受入れ企業の声

- お子さんだけでなく保護者の方々からのご質問もたくさんいただき、**外部の方々からの関心が強いことを感じた。**（小中学生向け）
- 会社に求められる人財の質問などがあり、**若い学生の活気を感じることができた。**（高専・大学生向け）
- 合同説明会のようにこちらがブースを構えて待っているより、**興味をはじめから持っていたりしている教員の方が多いので、説明する際もより強くアピールできた。社員にとってもいい経験になった**と感じる。（教職員向け）

③パンフレット作成

- 高校、高専、大学の学生向けに半導体関連企業パンフレットを作成。初心者向けの半導体の解説に加え、若手社員による企業紹介を掲載（21社）。
- キャリアセンターへの配架のほか、授業、キャリア講演会や工場見学等のイベントでも積極的に配布。増刷を経て既に**5,500部超を配布**。



- 掲載企業数：21社
- 半導体デバイス：7社
- 半導体製造装置：5社
- 半導体製造装置部品：6社
- 半導体材料：2社
- ファシリティ：1社



※ダウンロードは[こちら](#)

活用例

- 企業説明会での配布
- キャリアセンターへの配架
- 大学内での配布



- 会員同士のつながり作りと半導体産業への理解促進を目的に会員を対象とした工場見学・交流会を開催。
- 2回の開催で延べ**67社の67名が参加**。普段なかなか見る機会がない他社の現場を見る貴重な機会を提供。

第1回

日立ハイテク笠戸地区（山口県下松市）

開催日：9/12

参加社数：39社 ※うち北海道・東北から8社



日立ハイテクの工場見学会



工場見学会後の交流会

参加企業の声



- とても素晴らしいイベントだった。見学会も素晴らしかったし、**企業、大学・高専などの関係者とお近づきになれたのが最大の収穫**だった。（電子部品メーカー）
- 業界トップクラスの生の声をぜひ聞いてみたかったので参加した。**会社の規模感や最新設備の考え方などを知ることができ**、参考になった。（部品メーカー）
- 今後弊社が関わる上での**明らかな課題が明確になった**。（部品メーカー）
- 以前より拝見したいと考えていたので、今回の企画は**大変ありがたかった**。（製造装置メーカー）
- **調達担当者**と**名刺交換**をすることができ、今後アポイントを取りたいと思う。（半導体商社）

第2回

ジェイ・イー・ティ／安田工業（いずれも岡山県里庄町）

開催日：1/21

参加社数：28社 ※うち北海道・東北から4社



オリエンテーション



工場見学



受入れ企業の声

- 色んなネットワークができて良かった。工場見学・交流会終了後もたくさんの方が連絡をくださって**情報交換をする機会に繋がった**。
- **弊社が気にかけていない視点でのご提案、ご意見**をいただくことができた。
- ご要望があれば**来年度もぜひお受けしたい**。

- 半導体関連**サプライヤー企業同士のつながり作り**を目的にサプライヤーミーティングを開催。
- 2回の開催で延べ**44社の64名が参加**。企業からの話題提供や交流会を通じて、踏み込んだ情報交換を実現。

第1回

開催日：10/20

場所：広島県福山市（福山商工会議所）

参加人数：21社34名

 **タイム株式会社**

 **TANAKA**
TANAKA MACHINERY INC.



企業からの話題提供



交流会

参加企業の声



- 企業からの話題提供がとても興味深かった。今の**国内外の半導体業界の情勢がよく分かった**。（部品メーカー）
- **踏み込んだ話題が多く、とても有意義**だった。（部品メーカー）
- 今後の**人脈構築において非常に有用**だった。異業種への参入は人脈もなく、どこに相談すれば良いかも分からないので良い機会になった。（部品メーカー）
- **当事者が直面されている情報**を聞くことができた。（製造装置メーカー）
- 話題提供したことがきっかけで、参加していた**製造装置メーカーに工場見学に来てもらうことができた**。（部品メーカー）
- **交流会前に一言ずつ挨拶する形式がとても良かった**。（行政）
- 交流会の雰囲気も良く、良い機会をいただいた。（部品メーカー）
- 第3回も開催して欲しい。
- 開催案内をもう少し早くして欲しい。（部品メーカー）

第2回

開催日：2/2

場所：岡山県倉敷市（天満屋倉敷店）

参加人数：23社30名

 **ISHIHYOKI**

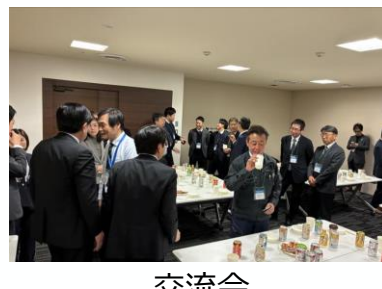
 **SUNSAI**
GENERIC

 **FURUWARA**
CHEMICAL
ENGINEERING

 **HORKOS**



企業からの話題提供



交流会

- **全国規模**で提案→選考→商談を実施する「技術交流会」を**5回開催**し、延べ**122件の提案**に対して**51件の商談**を実施。
- 実施後1年未満にも関わらず、**9件の取引開始**、**17件の今後取引を行う可能性がある案件の創出**を確認。

ニーズ発信企業

提案数

商談数

成果

SHARP

全国から
40社が提案

2025/
8/27

2次選考を経て
13社が商談

TAZMO

西日本シティ銀行の
目利きにより九州企業
9社が提案

2025/
10/10

9社が商談

SUZUKI

全国から
22社が提案

2025/
10/16
-10/17

選考を経て
12社が商談

SCREEN

全国から
27社が提案

2025/
12/8
-12/12

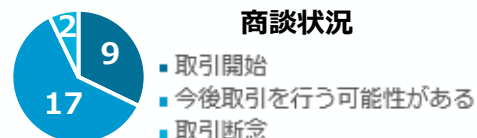
選考を経て
9社が商談

Phenitec

全国から
24社が提案

2026/
1/14
-1/15

選考を経て
8社が商談



- ✓ その他にも技術交流会の開催以降、
「個別面談を実施した」22社、「工場見学を実施した」3社、「見積を作成した」9社

提案企業の声

満足度
93%

- 仮説と想像に基づいて活動していたが、技術交流会で開示されたニーズを見て、**自分達が想像していたものとは大幅に異なることに気付いた。**（部品メーカー）
- 十分な商談時間をいただき、**実りある意見交換**ができた。（IT企業）
- 普段**接点のない企業や部署の方とも貴重な情報交換**ができた。（ファシリティ）
- 事前にニーズを確認することができたため、**ニーズに特化したPR**を行うことができて良かった。（部品メーカー）
- **交流会で深い議論**ができた。（部品メーカー）

ニーズ発信企業の声

- **長年抱えていた課題**だったので、公開するニーズの調整の手間を加味してもやって良かった。
- 実際にプレゼンを聞いてみてとてもよく分かった。レベルが高く、商談を行った企業の**半分以上は有望案件**。
- 以前開催した時に比べて**実施方法が良くなっていた**。
- 商談会後の**交流会を通じて本音の議論**をすることができたのが良かった。
- **来年度以降もぜひ実施したい**。



商談会の様子















商談会後の交流会



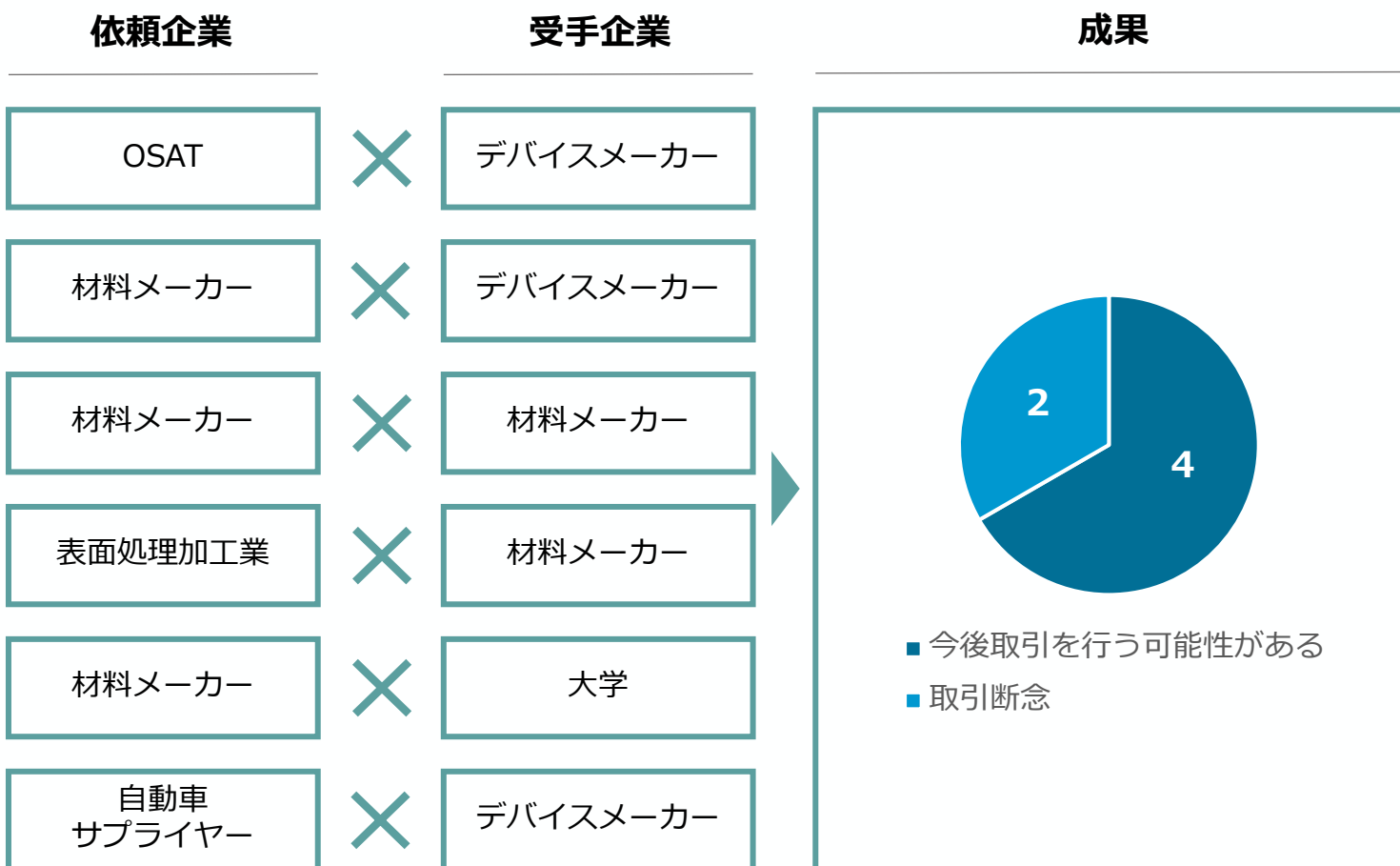
商談会後の交流会

- 2023年度、2024年度に開催した「技術交流会」でも延べ**109件の提案**に対して**55件の商談**を実施。
- 2024年度開催分のフォローアップアンケートでは、**3件の取引開始**、**5件の今後取引を行う可能性がある事例の創出**を確認。
- また、技術交流会をきっかけに個別面談や工場見学、見積作成といった次のフェーズに進展した事例も多数確認。

	ニーズ発信企業	提案数	商談数	成果
2024	     	全国から 60社が提案	2025/ 1/14 選考を経て 27社が商談	 <p>商談状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 取引開始 ■ 今後取引を行う可能性がある ■ 取引断念 <p>✓ その他にも技術交流会の開催以降、「個別面談を実施した」8社、「工場見学を実施した」2社、「見積を作成した」2社</p>
	    	東北・中国・九州 から 49社が提案	2023/ 11/17 選考を経て 28社が商談	<p>✓ 開催1ヶ月後時点のアンケートにおいて、「今後取引を行う可能性がある」案件を7件創出</p>

④個別マッチング支援（マッチング）【新規】

- 会員企業からの要望に応じ、協議会事務局のコーディネートによる企業間マッチングを実施。
- **12件の商談を企画し、うち6件の商談を実施。4件の今後取引を行う可能性がある案件を創出。**



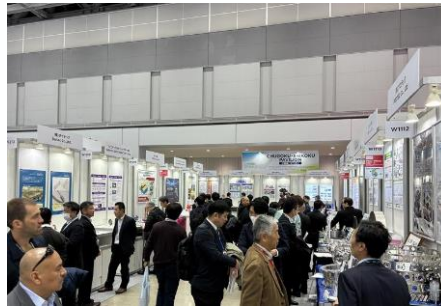
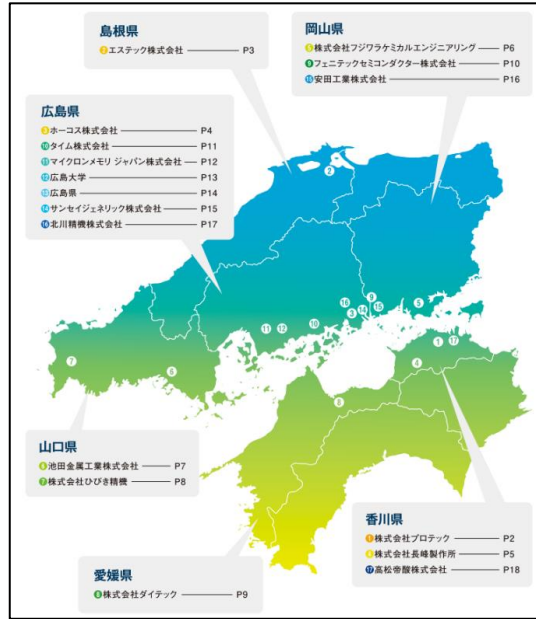
依頼企業の声



- **上手く繋いでもらえた。**とても満足。
- 弊社単独では**会えない人に繋いでもらった**ので、ありがたい気持ち。商談が成立するかどうかはまだ見通せない。
- **有益な情報交換**を行うことができた。
- まだ**商談が継続**している。繋いでもらったあと、受手企業が立地する地区の営業担当者と一緒に提案資料を持って行ったところ、興味を持ってもらうことができ、**ニーズも聞かせてもらうことができた。**



- SEMICON JAPAN 2025に中四国パビリオンを初出展。3日間で**2,300人以上の訪問**、うち将来のビジネスに繋がる可能性のある**有望案件も100件以上**。2026年も出展予定。
- 出展効果を高めるため、出展17者の技術等を紹介する**中四国パビリオンGuide Book**を配布。
- 会期中、北海道×東北×中部×中四国の地域パビリオンで合同懇親会を開催。



中四国パビリオン



合同懇親会

参加企業の声



- **来年度も共同出展に参加したい**ので、ぜひ企画してほしい。（複数）
- 通常では名刺交換できない企業のと接点が出て、**想定していた以上の成果が出た**。（機械メーカー）
- 出展効果は絶大で、まさに**弊社が出会いたいと考えていた業種・業界の方々とお会いすることができた**。既に試作依頼も複数いただけた。（表面処理加工業）
- **合同懇親会で他地域パビリオンの方々繋がれたのがとても良かった**。他地域では10年近く継続して出展することで「顔の見える信頼関係」を築いており、中四国パビリオンが今後目指していくべき一つの形。（部品加工メーカー）
- 全体的に地味だったので、**もう少し統一感のある目立つ装飾にしてほしい**。（複数）



※ダウンロードは[こちら](#)



- 会員ニーズの高い情報に関するセミナーを**5回開催**。延べ**729名**が聴講。

半導体業界への挑戦

開催日：8/5

開催方法：ハイブリッド

講師：ひびき精機

代表取締役社長
松山 功

参加人数：109名



半導体業界への挑戦 (第2弾)

開催日：9/29

開催方法：ハイブリッド

講師：SEMIジャパン カスタマーサービス部

シニアマネージャー 金子 直樹

金剛 代表取締役 田中稔彦

肥後銀行 産業イノベーション推進部長

佐藤 岳雄

参加人数：356名

※北海道半導体人材育成等推進協議会と北洋銀行の共催



市場の最前線とDEI戦略

開催日：2/3

開催方法：ハイブリッド

講師：東京エレクトロ コーポレートセールズ本部

調達担当GM 浅井 健太郎

広島大学 半導体産業技術研究所

特命教授 青砥 なほみ

参加人数：229名



半導体産業の全体像

開催日：7/2

開催方法：ハイブリッド

講師：福山大学 工学部長補佐
工学部 電気電子工学科長
キャリア形成支援委員長
教授 香川 直己

参加人数：35名



エンジニアの米国出張

～コンプライアンスを遵守した技術者の安全な渡航のための対策～

開催日：7/3

開催方法：オンライン

講師：グリーンフィールド オーバーシーズ・
アズカス 代表取締役 渡邊 究



①人材分科会【新規】～人材育成エコシステムの実現～

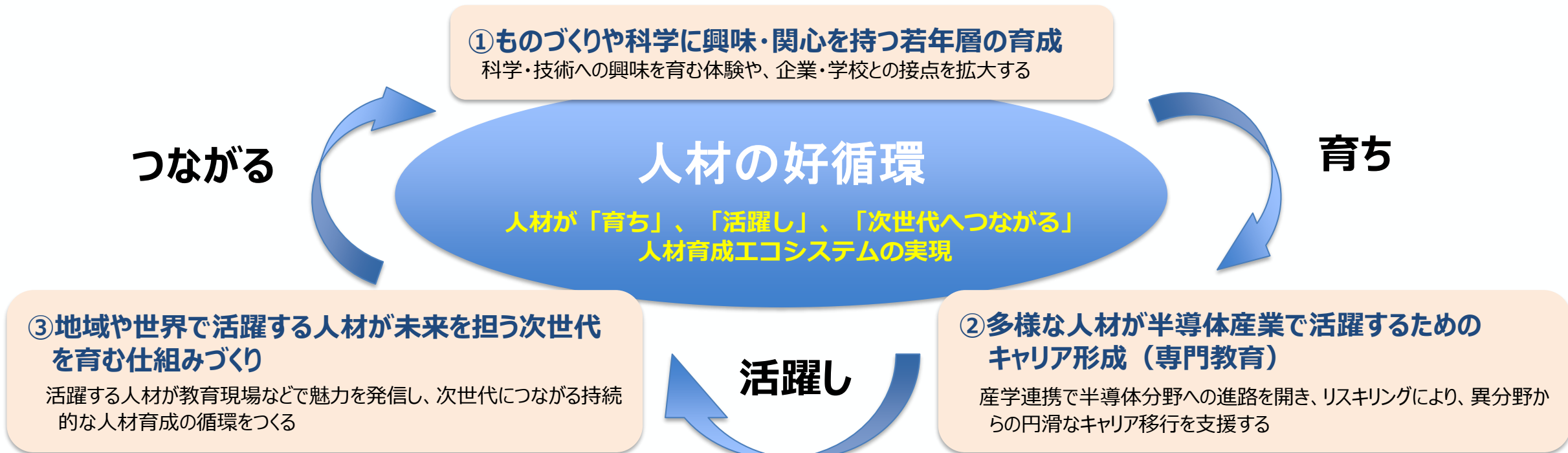
地域全体を俯瞰する視点を持ちながら、将来的な担い手となる人材の総数を増やすために必要な協議会での具体的な取組を議論するため、人材分科会を設置・運営。

（現状と課題）

- 地域企業が若者の就職先として選ばれにくい状況が、結果的に若年層の育成にも影響し、**負の循環**を生んでいる。
- この課題は、高校卒業後の地域企業への就職、文理選択、大学・大学院で専門的に学ぶ人材の総数や志願者数にも影響し、**人材不足の根本要因**となっている。

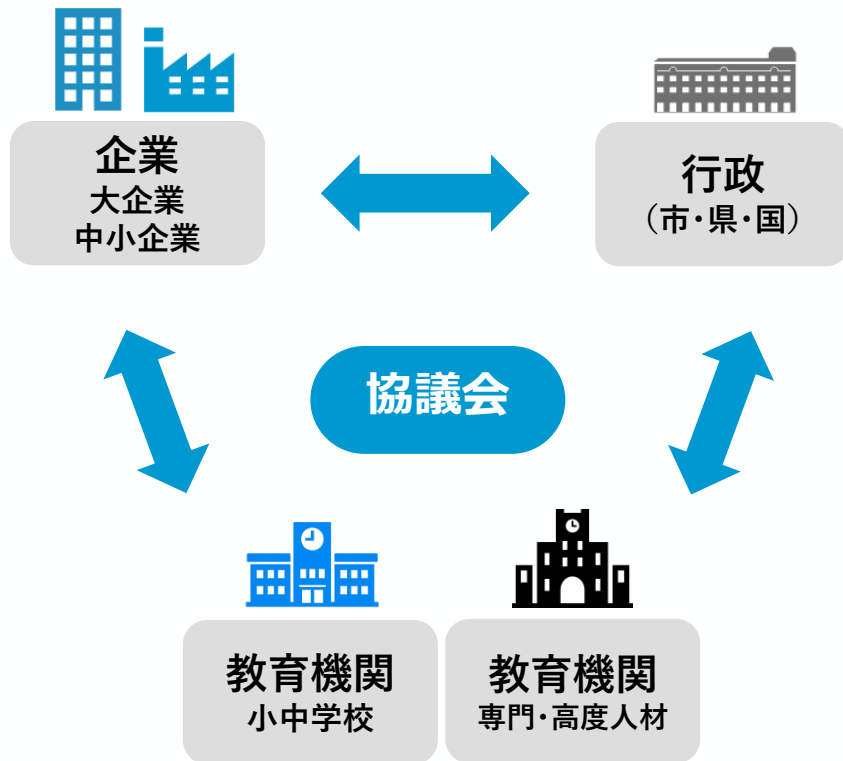
（目指す方向性）

- これらの課題を克服するため、幼少期からの継続的なアプローチにより、多様な半導体人材を育成し、地域や世界で活躍する人材が循環する**人材育成エコシステム**を構築する。



- 人材育成エコシステムの実現に当たっては、地域の企業、教育機関、行政が一体となって取り組む必要がある。
- 協議会は、こうした**地域の産学官をつなぎ、人材育成エコシステムの設計・立ち上げ、継続を支援するためのハブ**として機能。

エコシステムの担い手



協議会の役割（例）

- モデル事業の実施支援・横展開
- 学校・行政と地域企業をつなぎ
- 企業がメリットを感じるインセンティブの検討（行政のコミットメント）

協議会によるモデル事業の実施支援



教員向け工場見学会



工業高校への出前講座
(MOU締結)



小中学生・保護者向け
工場見学会

② サプライチェーン強靱化分科会 【新規】

- 協議会が実施するサプライチェーン強靱化に向けた取組に関する**会員の生声をお聞きし、議論や対話を通じてより良いもの**にしていくため、サプライチェーン強靱化分科会を設置・運営。
- 会員からはサプライチェーン強靱化の取組全般を高く評価いただいたが、下記のような点について改善意見もいただいた。

工場見学・交流会に対するご意見

- 工場見学の時間をもう少し長くとって欲しい
- (第2回の交流会が着座形式であったため、) より多くの参加者同士の交流がしやすい立食形式で開催して欲しい

サプライヤーミーティングに対するご意見

- 山口や山陰などもう少し離れた場所でも開催してほしい
- 話題提供してくれる企業の数を増やして欲しい

技術交流会に対するご意見

- 一定の信頼関係が構築された既存のビジネスを他に置き換えるのは難しいので、「将来的に何か一緒にできないか」といったもう少し長いスパンでのニーズ／提案が必要ではないか
- 公開したニーズを専門的な内容に絞り込みすぎたので、次はもっと色々な企業が提案しやすい形を取りたい

展示会共同出展に対するご意見

- 今後もぜひ出展を継続して欲しい
- パビリオンの立地や装飾デザインをもっと目立つようにして欲しい

その他に対するご意見

- 「サプライチェーン強靱化」がテーマであれば、ネットワーキングやマッチングの話だけでなく、物流やBCPなど色々なテーマについても検討するべきじゃないか



- **エリアを越えた交流やビジネスチャンス拡大**に向け、当協議会主催の取組に加えて、他地域主催のマッチング、工場見学、セミナー、交流会などにも数多く参加。

北海道との連携

- ✓ 北海道半導体人材育成等推進協議会が1月に開催したデンソー北海道との**ビジネスマッチング**イベントに当協議会員6社が提案。

DENSO

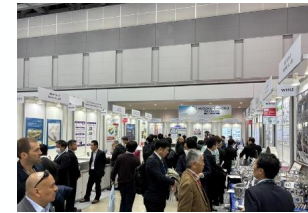
- ✓ 北海道半導体人材育成等推進協議会が開催する**セミナー**に中国地域の企業31名が参加（3月にも開催予定）。



四国との連携

- ✓ 四国経済産業局と連携し、SEMICON JAPAN2025に中四国の17者で**共同出展**。

※会期中に北海道・東北・中部・中四国の4地域で合同懇親会を開催



東北との連携

- ✓ 東北半導体・エレクトロニクスデザインコンソーシアム（T-Seeds）が12月に開催した「**企業間交流会**」（セミナー、懇親会、I-SPARKとキオクシア岩手の工場見学）に当協議会員6名が参加。



九州との連携

- ✓ 九州半導体人材育成等コンソーシアムが12月に開催した三菱電機パワーデバイス製作所との**ビジネスマッチング**イベント「チャレンジマーケット2025」に当協議会員5社が提案。



④地域内の連携【拡充・新規】

- 半導体関連産業を地域に根ざした産業にするため、**エリア内の自治体等とも連携**。

自治体連携会議

- ✓ 中国地域内の各自治体・支援機関の取組についての情報共有や関係構築のため、2025年7月に初めて「**自治体連携会議**」を開催。

岡山県との連携

- ✓ 2月に当協議会が開催した「第2回サプライヤーミーティング」をおかやま半導体関連コンソーシアムとの**コラボ企画**とし、同コンソーシアム会員6社が参加。



備後・井笠地域との連携

- ✓ 岡山県井原市・里庄町と連携し、小中学生・保護者向けツアーを**共催**、イベント当日は各教育委員会より、**教育長等も同行**。
- ✓ 福山市での教職員向け工場見学会では、福山商工会議所が実施するオンリーワン・ナンバーワン企業見学会と連携し、**共同実施**。

東広島市・広島大学等との連携

- ✓ 半導体関連産業の更なる発展を目的として、地域内外の半導体関連産業の関係者のコミュニケーションの場を設けるために1月に東広島市が開催した「ひがしひろしま半導体フォーラム」を共催し、**参加企業の募集**などで協力（72団体169名が参加）。



- ✓ 東広島市教委と広島大学教育ビジョン研究センター（EVRI）が主催した「広域交流型オンライン学習」では、**他地域（北海道・熊本）との連携**等に協議会が協力（東広島市・北海道・熊本県・鹿児島県の小学5年生27学級656名が参加）。



- ✓ 広島大学半導体産業技術研究所が高校・高専生に実施するキャリア講演会について、**県教委による周知・募集や高専への周知**に協力（8回283名が参加）。

1. 協議会の概要
2. 2025年度の主な協議会活動
3. 2026年度の活動方針

3. 2026年度の活動方針

- 人材、サプライチェーン強靱化の両分科会での議論、各種取組に対する参加企業からの声、事務局の体制、予算などを考慮し、さらには新たな自立化組織において担うべき取組という観点から、以下の方針で取り組む。

人材育成・確保

- 人材育成エコシステムの構築を意識しながら地域・教育機関との連携を深め、現行の取組を継続・拡充。

- **具体例**
 - 工場見学ツアーの開催地域の拡大検討
 - 学生向けパンフレットの改訂
 - 高専×企業の人材育成プログラム創出 など

サプライチェーン強靱化

- 目的や対象の類似する一部の取組は集約し、他地域との連携を深めることでより効果的に取組を継続・拡充。

- **具体例**
 - チャレンジマーケット2026 in マイクロンメモリジャパン【九州とのコラボ】
 - 工場見学・交流会2026 in 出雲村田製作所
 - 工場見学・交流会2026 in SCREEN
 - 工場見学・交流会2026 in 日立ハイテク
 - 技術交流会2026 in キオクシア【中部とのコラボ】（ほか1～2回開催予定）
 - SEMICON JAPAN2026「中四国パビリオン」共同出展 など

情報発信

- 非常に効果的であった報道機関に対する効果的な情報発信を一層強化し、地域の機運向上やブランディングに繋げる。

自立化・自走化

- 会員及び関係者との丁寧な議論・調整を実施（別途説明）。